

# 西粟倉村：2050“生きるを楽しむ”むらまるごと脱炭素先行地域づくり事業

脱炭素先行地域の対象：村全域の公共施設等（庁舎、教育・福祉施設、産業・商業施設、村営住宅等）

主なエネルギー需要家：小中学校等の公共施設9施設、村営住宅等54戸、産業・商業施設5施設

共同提案者：株式会社中国銀行、株式会社エクス都市研究所、テクノ矢崎株式会社

## 取組の全体像

村全域における公共施設等（庁舎、教育・福祉施設、産業・商業施設、村営住宅等。村の全電力使用量の30%相当）について、**屋根等に太陽光・風力・蓄電池を導入**するとともに、**既存の小水力発電、太陽光、木質バイオマス発電を活用**しながら、設立予定の地域新電力を通じて**エネルギーマネジメント**を行いながら脱炭素化を図る。また、データプラットフォーム上でエネルギーの見える化を行い、村民の排出量削減に向けた行動変容を促す。

### 1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

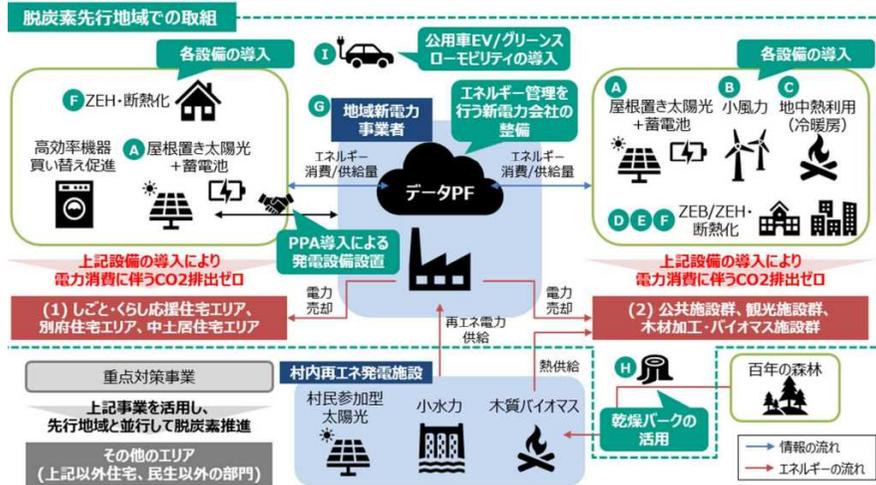
- 各施設等に**屋根置き太陽光パネル・蓄電池**を設置し、**自家消費**を推進。また、**2022年度中に設立予定の地域新電力会社**が、**PPA**や**VPP**を展開し、データプラットフォームにより一元管理して既設の太陽光発電や小水力発電、木質バイオマス発電を含む村内で生産された電力を地域全体に供給（熱エネルギー事業は既存の熱エネルギー会社が運営）
- 公共施設、教育施設、村営住宅等に対する**LED照明・高効率換気設備の導入、断熱改修の実施、ZEB・ZEH化の推進**

### 3. 取組により期待される主な効果

- VPPやPPA事業を担う**地域新電力事業会社**を設立することで地域経済基盤の創出や、森林整備で発生する廃棄物であるバークを木質バイオマス事業に活用することによる**循環社会の実現**

### 4. 主な取組のスケジュール

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	...	2030年度
【施設群】公共施設群、観光施設群、木材加工・バイオマス施設群						
		屋根置き太陽光 + 蓄電池				
	地中熱		小水力			
		ZEB/ZEH				
		真空遮熱ガラス				
		LED照明				
		高効率機器				
	バイオマス熱供給					
		モビリティ(EV、グリーンスローモビリティの導入)				
【住宅エリア】しごと・暮らし応援住宅エリア、村営住宅エリア						
		屋根置き太陽光 + 蓄電池				
		ZEB/ZEH				
		真空遮熱ガラス				



### 2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- 2008年から推進してきた「百年の森林構想」によって搬出される木材の土場で発生する廃棄物(樹皮バーク)を木質チップの乾燥に活用する**バークボイラー**の導入